

[概要版]

佐伯市地球温暖化対策実行計画  
(区域施策編)

令和7年1月  
佐伯市

## 1. 計画策定の趣旨

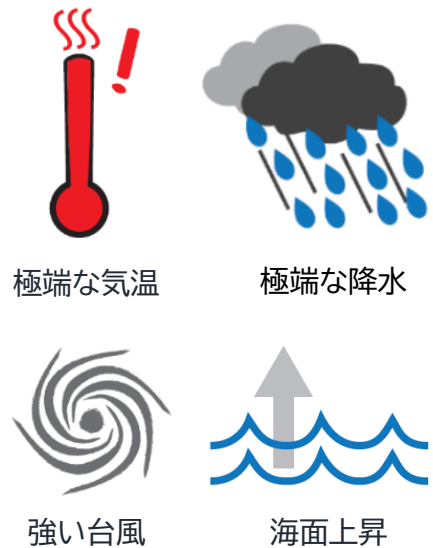
### ■ 計画策定の背景

- 佐伯市において、平均気温の上昇、1時間あたりの最大降水量や真夏日の増加傾向が見られ、農林水産業における被害、豪雨による浸水、土砂崩れ等の影響を受けています。
- 地球温暖化を食い止めるべく、地域一体となって地球温暖化対策を推進する計画を策定しました。

### ■ 計画の期間

- 本計画の期間は、令和7(2025)年度から令和12(2030)年度までの6か年とします。
- 基準年度は、国の地球温暖化対策計画と同じく平成25(2013)年度とします。

図 地球温暖化による影響 例

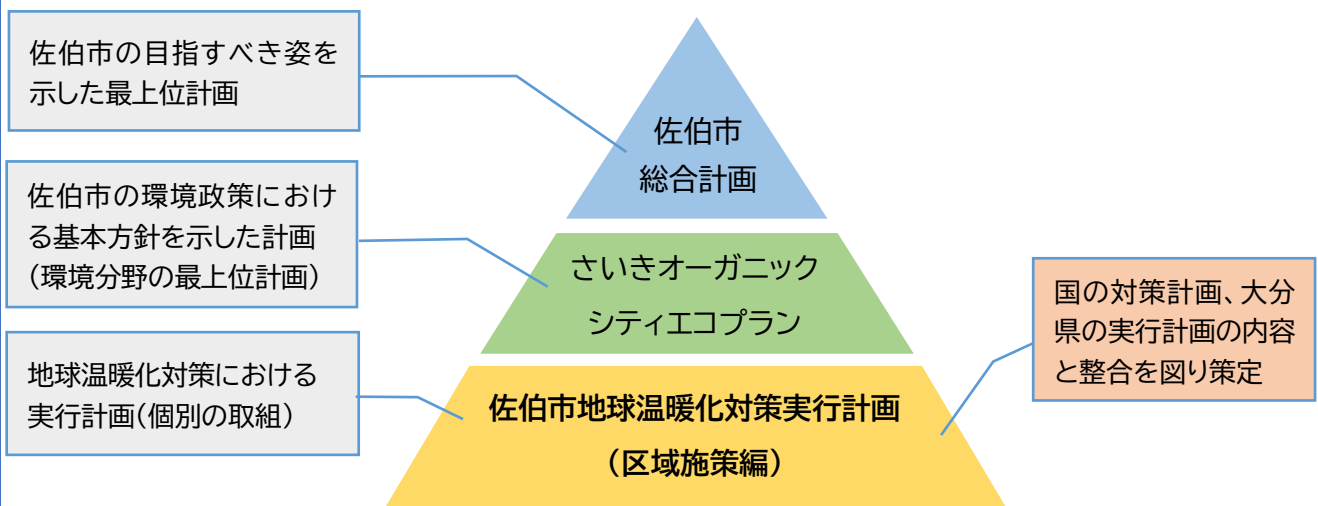


出典：環境省 地球温暖化と私たちの暮らし・未来(2023(令和5)年3月改訂)

## 2. 計画の位置づけ

- 佐伯市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の位置づけは以下の図のとおりです。
- 国の地球温暖化対策計画や大分県の地球温暖化対策実行計画とも整合を図り、策定しました。

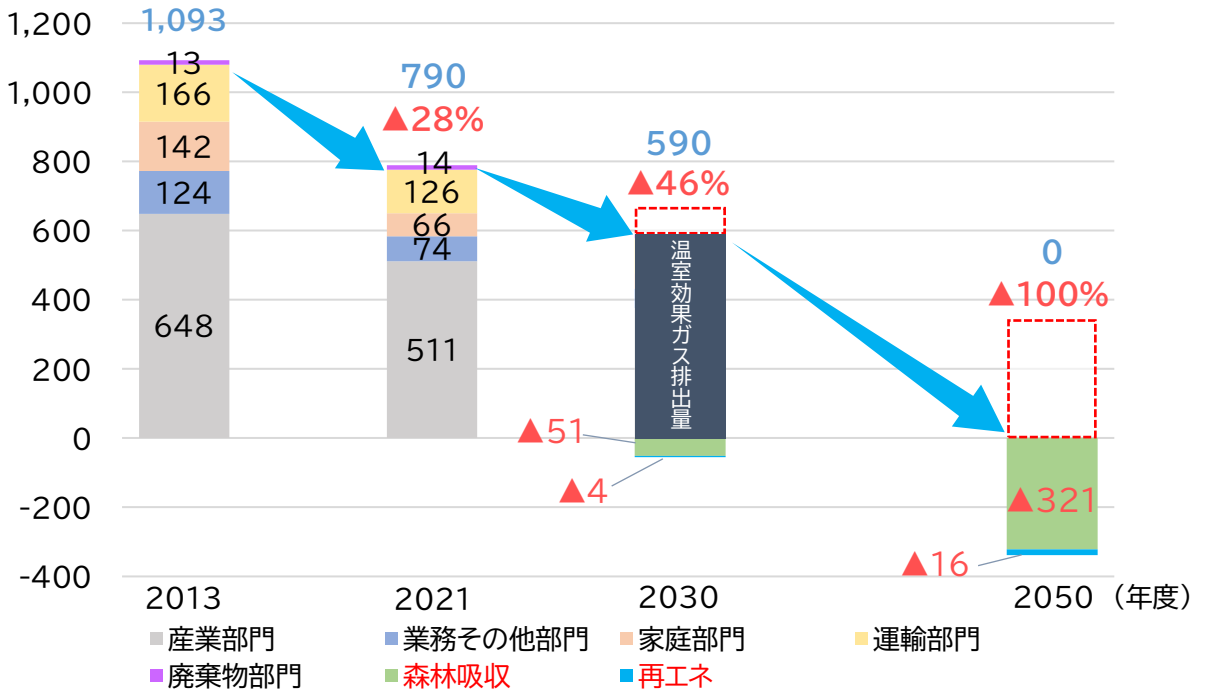
図 計画の位置づけ イメージ



### 3. 温室効果ガス排出量の将来推移と削減目標

- 平成25(2013)年度(基準年度)の排出量は、1,093千t-CO<sub>2</sub>です。
- 令和12(2030)年度の削減目標は、国と同等の基準年度比(平成25(2013)年度比)46%削減(▲503千t-CO<sub>2</sub>)とします。
- 令和32(2050)年度は、ゼロカーボンシティとして、ゼロカーボン達成を目指します。

(千t-CO<sub>2</sub>) 図 再生可能エネルギー導入や森林吸収を見込んだ場合のシナリオ推計結果



※図中の数値は、四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない

### 4. 再生可能エネルギーの導入目標

#### ■ 地域に適した再生可能エネルギーの導入方針

- 国の方針により、佐伯市の地域特性にあった再生可能エネルギー導入目標を設定しています。
- 佐伯市が有する豊かな自然環境や自然景観に配慮し、開発を伴わない佐伯市に適した再生可能エネルギー(屋根置きやカーポート型の太陽光発電、バイオマス発電など)の導入を検討します。

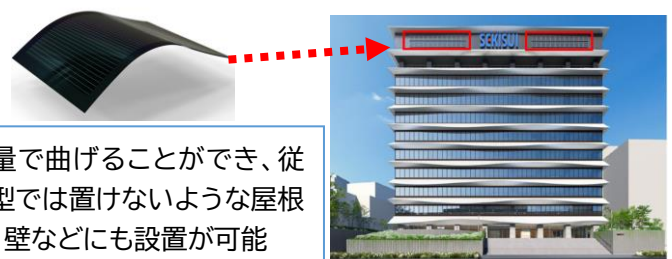
#### ■ 再生可能エネルギー導入目標

- 令和12(2030)年度 再生可能エネルギー導入量: **7MW**(4千t-CO<sub>2</sub>の削減効果)
- 令和32(2050)年度 再生可能エネルギー導入量: **32MW**(16千t-CO<sub>2</sub>の削減効果)

図 カーポート型太陽光発電



図 設置場所に柔軟性が生まれる次世代型太陽光発電(ペロブスカイト太陽光発電)



軽量で曲げることができ、従来型では置けないような屋根や、壁などにも設置が可能

出典:東芝エネルギーシステムズ、パナソニックHDプレスリリリース、積水化学工業株式会社プレスリリリース

## 5. 脱炭素で目指す将来像

①～⑤の5本柱に基づいて取組を推進し、佐伯市の将来像達成に貢献します。

◇ 佐伯市では、地球温暖化対策を単なる温室効果ガス削減の取組にとどまらず、地域が抱える課題を解決する一つの手段として推進します。

①地域への誇りと愛の育み



②地域産業の活性化



③水産業、農業の振興



⑤森林資源の活用



将来像

地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり  
～さいきオーガニックシティの実現～

④安心・安全な暮らし



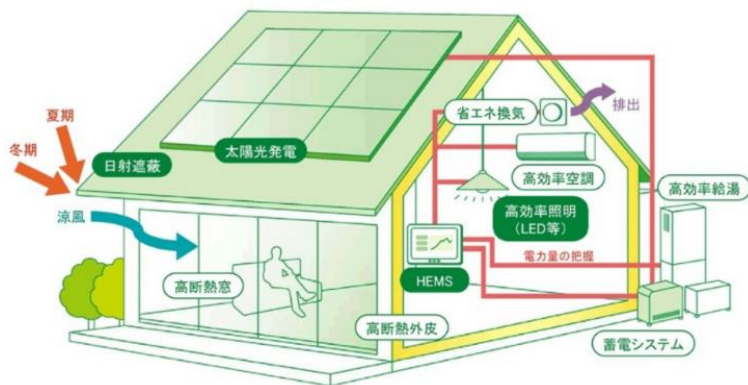
## 6. 将来像、目標達成に向けた具体的な取組 例

### ①省エネルギー対策の推進

#### ■住宅・建築物の省エネルギー化の促進

- ZEH化の促進など、住宅の脱炭素化を目指します。

図 ZEH:Net Zero Energy House



ZEHとは、徹底的な省エネと太陽光発電の創エネにより、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家のことです。

出典:資源エネルギー庁ウェブサイト

### ②地域に適した再生可能エネルギーの導入・活用の推進

#### ■公共施設における再生可能エネルギーの率先導入

- 公共施設の新築や建替時には、太陽光発電設備の導入を検討します。

図 公共施設の駐車場に太陽光発電を設置した先進事例(三重県)



出典:上野ガスウェブサイト

### ③持続可能な循環型社会形成の推進

#### ■ごみの資源化・減量化の推進

- スーパー・コンビニ等と連携した「てまえどり」の推進、関係団体と連携したフードドライブの実施等により、食品ロスの削減に取り組めます。

図 食品ロス削減に向けた「てまえどり」の啓発



出典:セブン&アイホールディングス

## ④脱炭素型まちづくりの推進

### ■次世代自動車の普及促進

- 脱炭素型まちづくりに向けて次世代自動車(EV、PHEV、FCV)を普及促進します。

図 次世代自動車一覧



出典:Let`sゼロトラ

## ⑤農林水産分野の取組推進

### ■佐伯広域森林組合と連携して取り組むJ-クレジットの申請(市有林)

- J-クレジットとは、森林における二酸化炭素の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。
- クレジット売却で得た利益は佐伯市の新たな財源となり、市民サービスに還元されることが想定されます。

### ■ブルーカーボンによるクレジット化の検討

- 海藻が吸収した二酸化炭素量を九州大学(連携協定を締結)のノウハウで算定することにより、クレジット化の実現と藻類資源の回復を目指します。

図 佐伯市内の森林



図 佐伯市内に繁殖するヒジキ



出典:佐伯広域森林組合ウェブサイト、海を想う株式会社ウェブサイト

## 7. 気候変動への適応

### ■ 気候変動とその適応策

- 気候変動とは、地球温暖化によってこれまで経験してきた気象パターンとは異なる、いわゆる「異常気象」が増加する現象のことです。
- 適応策とは、すでに起こっている気候変動や将来的に予想される状況に対応することを目的とした取組のことです。
- 佐伯市では、政府評価項目として設定されている7分野(以下の図)に沿って策定しました。

図 政府における7分野



図 2つの気候変動対策(右側が適応策のイメージ)

## 緩和とは?

原因を少なく

## 2つの

## 気候変動対策

## 適応とは?

影響に備える

緩和策の例

節電・省エネ

エコカーの普及

再生可能エネルギーの活用

森林を増やす

温室効果ガスを減らす

適応策の例

感染症予防のため虫刺されに注意

熱中症予防

災害に備える

水利用の工夫

高温でも育つ農作物の品種開発や栽培

出典:気候変動適応情報プラットフォーム

## 佐伯市における気候変動の影響・リスク 例



自然生態系

- 海水温上昇が一因と考えられる磯焼けが発生し、藻場が衰退
- 東南アジア原産のツマアカスズメバチの個体と巣が確認(大分県)



健康

- 熱中症による救急搬送者が増加(全国的傾向)
- 1年間での真夏日の日数も増加傾向(1980年代:22.8日、直近10年:54.4日)



産業・経済活動

- 市内の気温上昇に伴い、屋外にて作業が必要な職場での熱中症発症リスクが増大
- 市内の造船、水産加工、医療機器等の工場が水害被害を受け、稼働に影響が出るリスクが増大

図 磯焼けの様子(写真は葉の部分が魚に食べ尽くされたカジメ場)



- 磯焼けとは、海藻や海草を魚やウニが食べてしまい、焼け野原のような状態になった海底を指します。
- 気候変動により、海水温が上昇したことで、魚やウニが活発に行動したことが大きな要因となっています。

出典:水産庁ウェブサイト

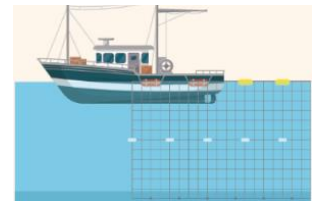
## 佐伯市における適応策 例



自然生態系

- ウニ、魚類(アイゴ、ブダイ、イスズミ等)の侵入防止網の設置、駆除
- 専門家、害虫駆除業者など専門知識を有する関係者からの情報収集

図 侵入防止網のイメージ



健康

- 指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)を設置し、市民が危険な暑さから身を守り、休憩できる場を確保
- 暑さ指数(WBGT)を確認し、活動中止判断の指針として活用

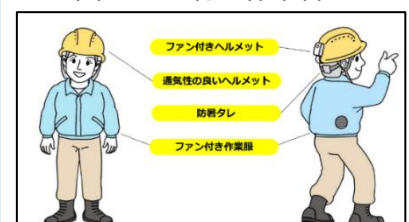
図 市内の指定施設(図書館)



産業・経済活動

- 休憩時間をこまめに設定して水分・塩分補給や身体冷却を実施
- ファン付き作業服などの熱中症予防対策グッズを使用し、勤務時の熱中症リスクを低減

図 ファン付き作業着



出典:気候変動適応情報プラットフォーム、厚生労働省ウェブサイト、佐伯市ウェブサイト